

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くろーぱー		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 12月 16日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に音楽療法、(ことば療法士による)を開催している。	発声だけではなく、表現力、創造力、集中力等が身につくように取り入れています。音楽療法は自主参加ですが、全員参加して楽しんで参加してくれています。	・専門職から助言や教えを請い自分たちのスキルを向上させること。継続して研修を行う。 ・保護者様も参加できるセミナーの案内の配布
2	機械浴を設置している為、座位ができない方も安心して入浴して頂ける。	一人ずつお湯の入れ替えを行い、清潔な環境で入浴してもらえるようにしています。	・安全に入浴してもらえるように、個別の安全計画を作成。 ・職員への研修を行う。 ・緊急時に職員全員が対応できるようにする。
3	法人内に就労支援A型事業所、B型事業所、生活介護がある。	将来設計の見通しが立てやすく、就労に必要な訓練をデイで取り組む事も出来る。	保護者様に他事業所の案内があまりできていなかった。モニタリング時に周知していけるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別プログラムに取り組む時間が少ない。	自由時間と療育時間の切り分けが必要。 子供たちが興味を持って自主的に参加できるようにしてい	個別プログラムの内容強化。 スタッフのスキル向上と個々の得意分野を活かした活動プログラムの作成と実施。 短時間でも集中してできる環境整備。
2	集団活動プログラムの提供が少ない。	個別に対応している時間が多く、どうしても集団活動の機会が少なくなってしまう。	音楽療法は比較的全員参加できている。 その他のプログラムは、特性に応じた工夫が必要。集団活動の中でも個別に対応していける職員のスキル向上。
3	職員間での情報共有の時間の確保。	定期的に時間を確保し、保護者の方がどこに問題を感じているのか、本人の思いはどうなのか等を十分に話をして共有していきたい。	プログラム作成や研修等、日々時間に追われてしまって余裕がないですが、ツール等の見直しを行い、効率よく取り組んでいきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 くろーばー

公表日 年月日 2026年2月10日

利用児童数 年月日

回収数 8

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					今後も継続していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					今後も継続していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					今後も継続していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					今後も継続していきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	87.50%			12.50%		すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					今後も継続していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	87.50%			12.50%		すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					今後も継続していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					今後も継続していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	50%			50%		交流は機会があれば、是非取り入れたいと考えています。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					今後も継続していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	87.50%			12.50%		すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	62.5%	12.50%		25%		必要に応じて検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					今後も継続していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					今後も継続していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	87.50%			12.50%	いつも支えてくださりありがとうございます。	すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	62.50%			37.50%		イベントが提供できるよう検討していきます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	75.00%	12.50%		12.50%		すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	87.50%	12.50%			すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	87.50%			12.50%	すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	87.50%			12.50%	書庫を施設しています。今後も気を付けて行きます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	87.50%			12.50%	非常災害緊急時の対応について、年1回内容を見直し、各ご家庭に書面を配布しています。今後も継続します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	87.50%			12.50%	消防計画に基づいた防災訓練を年2回実施しています。今後も継続し、お子様の安全確保に努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	87.50%			12.50%	今後も継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	87.50%			12.50%	すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	87.50%	12.50%			すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	くろーばー				公表日	2026年2月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		十分なスペースが取れるようにしています。	十分なスペースが取れるようにこれからも気を付けます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		指定基準通りに配置しています。	今後も継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		車いすにも対応したり、寝転びスペースを作る等しています。	今後も継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎日の清掃を行い、ゆっくりできるスペースも確保しています。	今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		個室もあり対応しています。	今後も継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%			非常勤スタッフを含む全職員が「PDCA」を再認識できるよう周知したいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			スタッフ間で共有して今後も行っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			スタッフ間で共有して今後も行っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	・オンライン研修や講演会に参加しています。	今後も継続していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%			今後も継続していきます。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			今後も継続していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			今後も継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			今後も継続していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			今後も継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%		今後はスタッフ全員で行ってきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			今後も継続していきます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%		終了後に確保する時間がないため、次の朝に共有する時間を設けている。(緊急時を除く)
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	75%	25%		スタッフ間で共有して行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	75%	25%		今後も継続していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			工夫して今後も行っていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・児発管及びその子によく接している支援員が参加します。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	・関係機関・学校と連携し、必要に応じて支援会議等を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・学校のお迎え時、先生と情報共有し対応しています。	今後も継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%			必要に応じて行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		お問い合わせがあれば、情報提供できる体制はできています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	外部のイベントには参加しています。	必要に応じて行っていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%		必要に応じて行っていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%		研修は今後前向きに検討していきたいと考えております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		支援の中で行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		モニタリング時に行っています。	今後も継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			必要に応じて行っていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	75%	25%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			今後も継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		非常災害時の対応については年1回見直し、各ご家庭に書面を配布しています。各マニュアルはそれぞれの研修・訓練の際に見直し、必要に応じてアップデートしています。	今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		消防計画に基づいた避難訓練や、研修・訓練に基づいた手洗い指導（いずれも年2回）を各マニュアルに沿って実施しています。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		初回契約時、その後は半年ごとのモニタリング時に状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	安全計画に沿って研修や訓練を行い、安全管理をしたうえで支援を行っています。	今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%	くろーばー利用時の緊急時の対応について、年1回ご家庭に書面を配布しています。	今後も継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		職員間で共有しています。	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		研修を受講し学んでいます。	今後も継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		研修を受講し学んでいます。	今後も継続していきます。	